

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書の訂正報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第4項
【提出先】	東海財務局長
【提出日】	2022年6月30日
【四半期会計期間】	第1期第3四半期（自 2022年1月1日 至 2022年3月31日）
【会社名】	藤久ホールディングス株式会社
【英訳名】	FUJIKYU HOLDINGS CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 中松 健一
【本店の所在の場所】	名古屋市名東区高社一丁目210番地
【電話番号】	(052) 725-8815 (代表)
【事務連絡者氏名】	企画部長 若園 和章
【最寄りの連絡場所】	名古屋市名東区高社一丁目210番地
【電話番号】	(052) 725-8815 (代表)
【事務連絡者氏名】	企画部長 若園 和章
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号) 株式会社名古屋証券取引所 (名古屋市中区栄三丁目8番20号)

1【四半期報告書の訂正報告書の提出理由】

2022年5月16日に提出いたしました第1期第3四半期(自2022年1月1日至2022年3月31日)四半期報告書の記載事項の一部に訂正すべき事項がありましたので、これを訂正するため、四半期報告書の訂正報告書を提出するものであります。

2【訂正事項】

第一部 企業情報

第3 提出会社の状況

1 株式等の状況

(4) 発行済株式総数、資本金等の推移

3【訂正箇所】

訂正箇所は_____を付して表示しております。

第一部【企業情報】

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

<訂正前>

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
2022年1月4日	12,301,000	12,301,000	100,000	100,000	25,000	25,000

(注)発行済株式総数、資本金及び資本準備金の増加は、2022年1月4日に単独株式移転により当社が設立されたことによるものであります。

<訂正後>

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
2022年1月4日 (注)1.	12,301,000	12,301,000	100,000	100,000	25,000	25,000

(注)1. 発行済株式総数、資本金及び資本準備金の増加は、2022年1月4日に単独株式移転により当社が設立されたことによるものであります。

2. 当社の完全子会社である藤久株式会社(以下、「藤久」といいます。)が、2020年5月13日提出の有価証券届出書に記載しました「手取金の使途」について、下記のとおり変更することといたしました。

変更の理由

藤久は、2020年5月13日提出の有価証券届出書に記載しましたとおり、店舗の再編及び情報システム投資を目的として、第三者割当による新株式発行による資金調達を実施いたしました。

店舗の再編における当初計画では、内外装から商品構成まで大幅な見直しを行う強化店舗に600百万円、経年劣化による外観改装を行う既存店改善に200百万円、合計で800百万円を充当することを予定しておりました。しかしながら、コロナ禍による個人消費低迷の影響もあり、強化店を含む既存店の売上は伸長せず、その効果検証に時間を要することから、2022年3月に投資計画を見直し、店舗業績の格差拡大を踏まえ、一層のスクラップアンドビルドを推進するため、調達資金の支出予定時期を1年延長し、閉鎖費用(原状回復工事、什器撤去等)に追加で充当することといたしました。その結果、店舗の再編における支出は、強化店舗へ220百万円、既存店改善へ168百万円、閉鎖へ301百万円と、当初計画800百万円を下回る689百万円に変更いたしました。

情報システム投資における当初計画では、オムニチャネル化推進のため新基幹システム構築とPOSレジシステム刷新に600百万円を充当することを予定しておりましたが、ECサイト再構築への追加投資のため、当初計画を上回る711百万円に変更いたしました。なお、ECサイト再構築への追加投資は2021年12月に変更しており、本来は藤久の第62期第2四半期(自2021年10月1日至2021年12月31日)四半期報告書に記載すべきものですが、藤久の単独株式移転による持株会社(当社)設立手続きに伴い、藤久は2021年12月29日に上場廃止しており、当該四半期報告書を作成・提出しておりません。そのため、本四半期報告書にて、その変更について記載しております。

変更の内容

資金使途の変更内容は以下の通りです。

(変更前)

具体的な使途	金額	支出予定時期
店舗の再編	強化店舗 600百万円	2020年7月～2022年6月
	既存店改善 200百万円	
情報システム投資	600百万円	2020年7月～2022年6月
その他運転資金	44百万円	2020年7月～2020年12月

(変更後)

具体的な使途	金額	支出予定時期
店舗の再編	強化店舗 220百万円	2020年7月～2022年6月
	既存店改善 168百万円	2020年7月～2022年6月
	閉鎖 301百万円	2020年7月～2023年6月
情報システム投資	711百万円	2020年7月～2022年6月
その他運転資金	44百万円	2020年7月～2020年12月